

令和元年度 学校評価書

I 経営の重点に関わること

学校名: 静岡市立高等学校 (定時制)

1 責任ある行動力と自主的・協調的な精神の涵養を図り、社会人として望ましい職業観や勤労観を身に付けた健全な勤労学生を育成する。		自己評価	
2 重点目標 生徒一人ひとりの自立(自分の力を発揮して人の役に立つ人間になること)に向かって、未来起点の思考と日常の凡事の徹底により、高校生活(学習、学校行事、就業体験等)を通して、3つの資質・能力(基本的な生活習慣・基礎力、自己肯定感・自己有用感、自主性・主体性)を、生徒一人ひとりが自ら育むように、教職員、保護者、同窓会等が連携し、皆で支援する。	(1) 基本的な生活習慣の確立及び心身の成長	基本的な生活習慣を身に付ける。(あいさつ、身だしなみ、言葉づかい等) 【全職員】 【学校説明】 ・あいさつを励行し、生徒間や教員とのコミュニケーションの活性化を図った。 ・積極的に生徒に声をかけ、些細な変化を見逃さない生活指導を行った。生徒の出席状況も比較的良好で、日常の挨拶もしっかりできている。 ・各学年、出席状況は概ね良好であった。長期欠席者はいない。	A
	(2) 授業、学校行事及び就業等への積極的な取組	① 外部講師の講話等を通して、在り方・生き方教育の充実を図る。【全職員】 【学校説明】 ・昨年度に引き続き、NPO法人「わかものまち」の協力を得て、主権者教育を実施した。生徒は、自分の住むまちやその周囲の様子、そこに暮らす人々やまちの良いところ及び課題を考えることで、一人ひとりが社会について自分ごととして考えることができた。 ・進路講演会は、調理と自動車で体験実習を中心に行った。講師の先生の説得力のあるお話や体験を通じて、生徒は自身の進路について深く考えることができた。	A
		② 同窓生等の協力を得ながら、伝統ある母校の歴史や諸先輩方の業績等について理解を深め、市立高校定時制課程で学ぶ誇りと意欲を高める活動を行う。【全職員】 【学校説明】 ・2021年度の閉課程を見据えて、自校の歴史や同窓生の活躍を学び、愛校心や自尊心を高める活動を行った。具体的には、本校定時制卒業生の進路を調べ、その成果を合同文化祭で展示した。 ・4学年アンケートにて、すべての生徒が、「静岡市立高等学校での生活を通じ、母校に愛着や誇りを感じることができた。」と回答している。	A
	(3) 自主性・主体性を生徒一人ひとりが自ら育む教育	生徒が主体的に取り組み、達成感や成就感が得られる機会を意図的に設定する。【全職員】 【学校説明】 ・すべての生徒が各学校行事を分担して担当し、企画から運営までを経験させ、主体性を育み、達成感や成就感が得られるようにした。毎回、生徒主体の満足度の高い充実した学校行事を実施することができた。 ・教科係を分担し、授業前の準備等、責任感をもって役割を主体的に果たすことができた。	A

評価	学校関係者評価委員会から
A	授業参観時、生徒は落ち着いて学習しており、コミュニケーションが取れていた。笑顔も多くみられた。基本的な生活習慣ができていることは、良いことだと思う。学校に行くのが楽しみ、そんな学校にしたい。今の子どもさんの安定と落ち着きは、教師と生徒の人間関係の良さだと思う。
A	外部講師の話は、自分がこれからどう生きていくのかのヒントになる。多くの人の話を聞かせてほしい。
A	自分の卒業した学校は、いつまでも大切です。愛校心、愛郷心を持たせる活動、大切だと思います。
A	学校行事の企画からゴールまで生徒の考えに寄り添って、数多くの達成経験を得ることができるよう、取り組んでください。自分から進んで行動する。それが自分を高めることにつながる。そのことを理解させたい。

II 各指導部・領域等に関わること

大項目	中項目	評価指標	自己評価
1 教育課程 学習指導	(1) 確かな学力の育成 【市共通項目1】	生徒一人一人に寄り添う授業の実践に努める。【全職員】 【学校説明】 ・生徒に付けさせたい力を明確にし、生徒自身が成長したことを実感できるよう指導方法の工夫に努めた。 ・学習指導に関する校外研修の内容を全職員で共有し、授業設計や評価の充実に努めた。 ・学習の遅れがちな生徒には、丁寧な個別指導を行った。	A
	(2) 道徳教育の充実 【市共通項目2】	高校生、社会人としてマナーや規範意識、順法精神を身に付ける。【全職員】 【学校説明】 ・職員の積極的な声かけにより、生徒同士のトラブルを未然に防ぐことができていた。問題行動には厳しい姿勢で指導にあたった。年間の生徒指導件数は2件だった。 ・年間のいじめ件数は0件であった。 ・年間交通事故件数0を目標に、交通安全教室の開催や自転車・オートバイの検査等を行い、交通安全について指導してきた。幸い、大きな交通事故・違反もなく、交通ルールを遵守して登下校できた。 ・薬学講座を開き、覚醒剤や違法ドラッグの恐ろしさ、規範意識を身に着けた。	A
	(3) 特別活動の充実 【市共通項目3】	学校行事、生徒会活動等へ積極的に参加する。【全員】 【学校説明】 ・生徒主体の生徒会活動(学校行事運営)ができた。 ・学校行事については延べで数名の欠席はあったものの、概ね良好であった。 ・学校行事等において、学年を越えた活動が定着し、生徒間の交流は十分にできていた。	A
2 生徒指導	(1) 一人一人を大切に指導 【市共通項目4】	個人面接や教育相談機能の充実を図る。【教育相談・担任】 【学校説明】 ・各学年とも生徒及び保護者との複数回の面談を通じ、個に応じた指導に努めた。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携を充実させた。	A
3 進路指導	(1) 進路指導の充実	① 積極的に就業を経験し、職業観や勤労観を身に付ける。【進路担当】 【学校説明】 ・低学年のうちから積極的に進路に関する情報を提供し、生徒の進路に対する意識を高めた。 ・すべての生徒がアルバイトを経験している。卒業後の進路意識も徐々に高まりつつある。	A
		② 市高版「キャリア教育テキスト」を活用し、キャリア教育を充実させ、職業意識の向上を図る。【進路担当】 【学校説明】 ・「キャリア教育テキスト」を活用し、LHRなどを活用し、進路教育を学校をあげて進めた。生徒数が少ない中ではあるが、本年度も充実した進路講演会を実施し、職業意識を高めることができた。 ・年度初めや終わり、学校行事の度に生徒自身が記録に残し、それをポートフォリオ化することで、振り返りを促した。	A

A	書の表装を楽しく行っていたシーンが印象的でした。一人一人に寄り添う授業ができている。深い人間関係が甘えにならないように。授業を見せていただいで、先生とのマンツーマンの授業がうらやましい(自分たちの時にはなかったから)。
A	交通安全指導においては、被害者家族や一生続く傷害という現実を直視することが大切である。人数が少ないので、一人一人と積極的にかかわることができる。人間としての生き方も話してほしい(やっていると思うが)。問題がないことは、大変良いことです。
A	生徒数が少ないので、行事、生徒会活動、難しいと思うが、よくやっている。
A	生徒にあった仕事、勉強の仕方など、きめの細かな話し合いが大切だと思う。
A	アルバイトの経験(特に失敗)を通して、自分の夢に近づいてほしい。アルバイトを通して、働くことの意味、楽しさなど、体験させ、それを皆に広めてほしい。
A	上級生が下級生のロールモデルとなるとよい。

4 安全管理・指導	(1)学校安全システムの構築 【市共通項目5】	防災教育、交通安全教育の推進及び危機管理体制の充実を図る。 【管理職】 【学校説明】 ・外部講師招聘による交通安全教室（年1回）と自転車点検（各学期1回）等を実施した。 ・9月には、避難訓練（夜間経路確認）と防災訓練（体験型）を実施した。千代田消防署と連携し、心肺蘇生法、AED講習を実施した。 ・タイミングを踏まえ、学期に複数回、学校安全についての情報を職員と共有し、生徒には防災教育（地震、大雨、総合）を行った。	A
5 保健管理・指導	(1)健康教育の充実 【市共通項目6】	生徒自ら正しい健康管理ができ、安全で規則正しい生活習慣を身に付ける。 【養護教諭・保健体育科】 【学校説明】 ・「保健だより」を発行し、学校保健の啓発に勤めた。 ・学期ごとに養護教諭による生徒の健康面談等を行った。 ・歯の健康や睡眠についての健康指導など、養護教諭が主体となって健康指導を積極的に行った。 ・新体力テストでは、すべての生徒が複数種目で前年の記録を更新することができた。	A
6 特別支援教育	(1)学校の実態に応じた校内支援体制づくりの推進 【市共通項目7】	特別支援教育を重視し、個々の生徒の状況把握と支援に必要な情報を共有し、必要に応じて個別の支援計画を作成する。 【特別支援担当】 【学校説明】 ・当該生徒に対する指導方針を教職員間で確認し指導支援した。 ・県および市の特別支援教育の研修会に職員を派遣した。 ・特別支援教育に関する研修を学期ごとに実施した。生徒理解や多様性、インクルーシブ教育の実現に向けて教職員の意識の高揚を図ることができた。 ・個別の支援計画は、必要性が生じた時にはスムーズに作成ができるよう準備はできている。	A
7 組織運営	(1)組織・運営の改善 【市共通項目8】	① 生徒の情報と教育課題を速やかに全職員で共有する。【全職員】	A
		【学校説明】 ・生徒の心身の不調や対人関係のトラブル、家庭の状況及び学習における課題についての情報を日常的に共有することができた。	
		② 職員のワークライフバランスに配慮した校内体制の整備を図る【管理職】	A
		【学校説明】 ・年休が取得しやすく、午前出張時の勤務時間の変更にも柔軟に対応できる職場の雰囲気を作ることを目標とした。 ・年休制度や「変形労働時間による勤務の割振り」、「勤務時間帯の変更」に関して、それぞれの制度や考え方について伝達、共有し、職場全体での理解を促した。 ・その結果、休暇制度の周知徹底ができ、休暇や割振りが取得しやすい職場の雰囲気ができている。	
8 研修	(1)研修体制の充実 【市共通項目9】	効果的な少人数教育の研究をすすめる【研修担当・全職員】 【学校説明】 ・県総合教育センターの指導主事定期訪問を受けて、外国語科の研究授業、及び「学習評価」の研修を行った。 ・中部定時制副校長教頭会主催の授業研究会に2人の教員が参加し、協議を行った。 ・授業公開週間を年2回設け、他教科の取組状況を職員が把握することができた。「主体的・対話的で深い学び」についての研修を2回実施し、授業改善の一助となった。 ・上記を含めて、多様なテーマにて、15回以上の研修を実施した。 ・「授業に関するアンケート」を年2回行い、教員の授業の基礎技術を確認するとともに、生徒の授業への取り組みを評価し、改善に生かした。ほとんどの生徒が「授業に積極的に取り組むことができている。」「授業での達成感がある。」と回答している。	A
9 保護者・地域住民等との連携	(1)信頼される学校づくりの推進 【市共通項目10】	① 学校評議員による学校評価等を活用し、教育活動の点検及び改善を図る。 【管理職】 【学校説明】 ・第2回の学校評議委員会では、生徒が安定して授業に向かっている様子、生徒と教員の良好なコミュニケーション及び工夫された少人数教育の成果が現れていると評価していただいた。今後も、生徒理解と弛まぬ授業改善に努めていきたい。	A
		② 学校だよりや生徒会新聞、またHP等による積極的な情報発信を行う。 【管理職・生徒課】 【学校説明】 ・学校だより（「市定だより」）を年6回発行の予定だったが、12回発行することができた。さまざまに生徒に語り掛ける内容を掲載することで、成長する心と姿勢の育成を目指すとともに、保護者に対しても学校の教育活動に対し理解を深めてもらう努力を継続する。 ・HPも順調に更新することができ、生徒の学校生活、活動の様子を内外に発信することができている。	A

A	自分の命は自分で守る。そのための訓練であることを体感させたい。
A	欠席者も少なく、健康管理には十分気を付けているように思います。
A	不断の生徒観察を教師間で共有して、支援計画が効果的に立てられるよう、努めてください。
A	全職員で一人一人の子どもを育てる。少人数だからなおさら。
A	学校は組織で動く。安心して休みが取れる学校は、いい学校です。
A	少人数教育の特徴を活かし、生徒の学力とともに、人間としての成長も期待します。15回余の研修、昨年同様お疲れ様です。 新しい指導要領の趣旨を生かした授業が行われているように思います。一人一人に沿った授業とその広がり、広げ方を研究してください。
A	定時制の授業を参観できたことは、大変よかった。生徒の様子や先生方の授業の工夫を評価したい。
A	「市定だより」の12回の発行は、評価する。 学校だよりの発行、すごいですね。市高定時制がんばっているということをおPRできたと思います。

学校から 経営のまとめ(成果と課題)	
【成果】 ・職員の丁寧な指導、生徒情報の速やかな共有と対処により、生徒は落ち着いた学校生活を送ることができていた。 ・生徒は、少人数ながら学校行事にも積極的に参加し、他者とコミュニケーションを図り、主体的に事を成し遂げようとする姿勢も育ちつつある。 ・日々、よりよい教育を提供していこうという認識とともに、職員のワークライフバランスについても推進することができた。	
【課題】 ・学力の三要素を踏まえた市高定時制の育てたい生徒像を、閉課程まで2年となったここで再確認し、そのためのカリキュラムを組織的、計画的に実施していく。 ・不断の授業改善に努め、特に定時制の生徒が「方法知」を得るような授業展開を、教科を超えて共有していく。 ・母校に愛着や誇りを持たせるための具体的な教育活動の展開を開始する。 (引き続き) ・低学年時からの進路指導に力を入れるとともに、保護者との一層の連携を図っていく。 ・学校安全、防災教育については、平時から生徒・職員ともに意識を高めておく。	

学校関係者評価委員会まとめ	
全体的に評価が高く、良いのではないかと。 教育のご苦勞を評価します。人生の目標や就職進路といっても、多様な時期であり、はっきりしている生徒は少ないと思います。生徒の声に耳を傾けて、生徒の成長の後押しをお願いいたします。 市高定時制の卒業生だという誇りをいつまでも持てるよう、残された年月を大切に指導してください。	